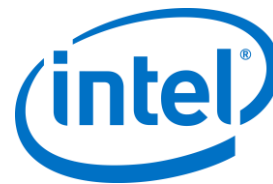


Intel® Unite™ ソリューション

Skype* for Business 用プラグインガイド



法務情報および免責事項、著作権

本資料に記載されたすべての情報は、予告なく変更されることがあります。インテル® 製品の最新の仕様およびロードマップをご希望の場合は、インテルの担当社員までご連絡ください。

インテル® テクノロジーの機能と利点はシステム構成によって異なり、対応するハードウェアやソフトウェア、またはサービスの有効化が必要となる場合があります。実際の性能はシステム構成によって異なります。絶対的なセキュリティーを提供できるコンピューター・システムはありません。詳細については、各システムメーカーまたは販売店にお問い合わせいただくか、www.intel.co.jp を参照してください。

ここに記載されているインテル製品に関する侵害行為または法的分析に関連して、本書を使用または使用を促すことはできません。インテルに対し、ここで開示された内容を含む特許クレームについて非独占的かつロイヤルティー・フリーの実施権を許諾することに同意したものとみなされます。

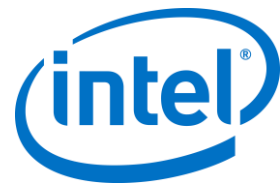
本資料は、（明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず）いかなる知的財産権のライセンスを許諾するためのものではありません。

インテル® 製品には、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があります。公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。

インテルは、明示たると黙示たるとを問わず、商品性、特定の目的に対する適合性、法律違反のないこと、履行の過程、商取引上の取り扱いもしくは利用の慣例の黙示の保証を含むが、これらに限定しないすべての保証を否認します。

インテルは、本資料で参照している第三者のベンチマーク・データまたは Web サイトについて管理や監査を行っていません。本資料で参照している Web サイトを参照し、本資料で参照しているデータが正確かどうかを確認してください。

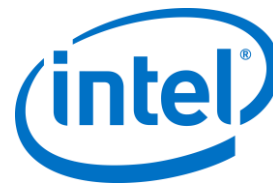
Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Unite は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。



この文書はローカライズされることにより、一部の画像の表示が異なることがあります。

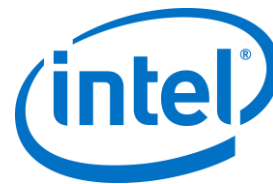
*その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です

© 2016 Intel Corporation.無断での引用、転載を禁じます。



目次

1.	はじめに.....	5
1.1	対象	5
1.2	概要	5
2.	プラグインのフロー	7
3.	プラグインのインストール	9
3.1	前提条件	9
3.1.1	Microsoft* Exchange* の電子メールアカウントと Exchange Web Service へのアクセス....	9
3.1.2	Skype* for Business がインストール済みで稼働中であり、起動時に自動的にサインインする	10
3.1.3	プラグインが信頼済みであることを確認する	10
3.2	必要な Exchange Server* の情報を探す	10
3.3	Skype* for Business 用 Intel® Unite™ プラグインのインストール	11
3.4	インストールのカスタマイズ.....	13
4.	クライアント・デバイスで Skype* for Business を有効にする方法 14	
5.	プラグインの主な機能.....	16
5.1	スケジュールされた会議	16
5.2	Skype* for Business 会議に参加する	16
5.3	Skype* for Business 通話の応答	17
5.4	コンテンツの共有	17
5.5	ビデオ制御.....	17
5.6	オーディオ制御.....	18
	付録 A : レジストリー・キー	19
	付録 B : XML ファイルの設定.....	23
	付録 C : トラブルシューティング	24



1. はじめに

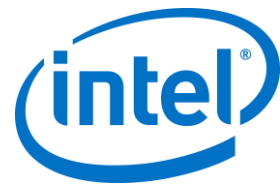
Skype* for Business 用 Intel® Unite™ プラグインガイドへようこそ
このガイドには、Skype* for Business 用プラグインをインストールする詳細な手順と、Intel® Unite™ プラグインの主な機能に関する情報が含まれています。

1.1 対象

このドキュメントは、Intel® Unite™ ソフトウェアのインストールおよびアプリケーションへのオプション機能の追加を担当する、企業環境内で作業を行う IT スタッフを対象としています。

1.2 概要

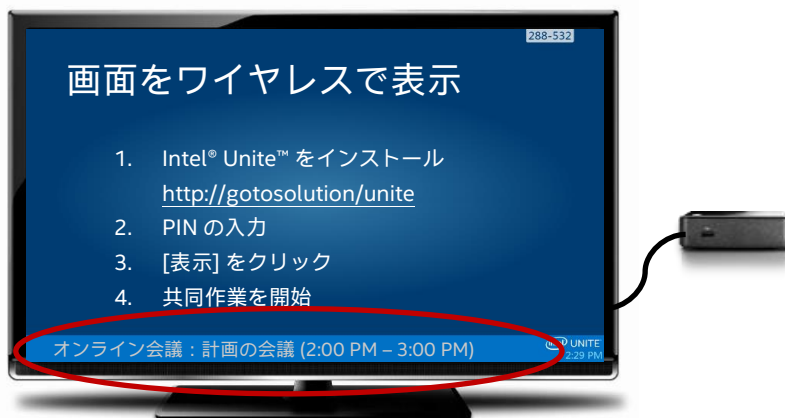
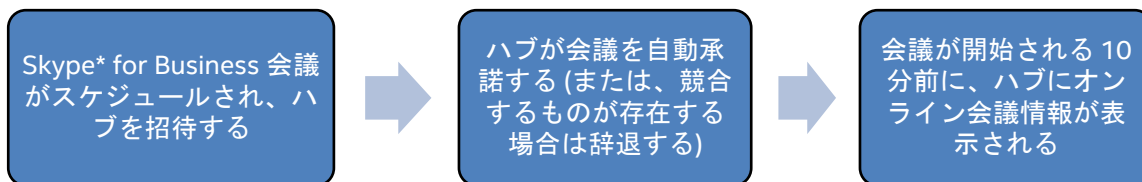
Skype* for Business 用プラグインとは、オンライン Skype* for Business 会議の参加者が Intel® Unite™ アプリのセッションに参加できるようにするソリューションです。このプラグインは、Intel® Unite™ ソフトウェアのハブで実行され、会議の設定、変更、参加、および辞退を行うための、各インスタンス固有の電子メールアカウントを管理します。Skype* for Business 会話への追加も可能です。また、ユーザー入力によって、Skype* for Business 向けに設定されているオーディオおよびビデオデバイスを制御できます。

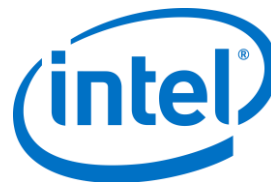


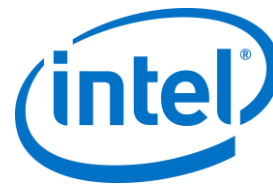
Microsoft* Exchange* を使用している IT 部門の場合は、Intel® Unite™ ソリューション対応会議室用の Exchange* アカウントを追加すれば、会議主催者は他のリソースと同じようにその会議室をスケジュールできます。デフォルトでは、プラグインはカレンダーの招待を管理し、新しい会議と会議の更新を受け入れ、ハブカレンダーと競合する招待を拒否します。あるいは、IT はプラグインでこの機能を無効にして、既存ツールを使用しカレンダーを管理することもできます。

2. プラグインのフロー

Skype* for Business 用プラグインがハブにインストールされ、設定されました。







3. プラグインのインストール

3.1 前提条件

Skype* for Business 用 Intel® Unite™ プラグインがハブにインストールされ、次の要件を満たしていること。

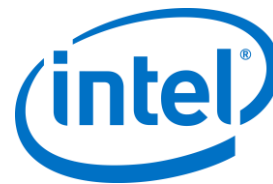
ソフトウェアの要件：

- Microsoft* Exchange* 2010 以降
- Skype* for Business 2013 以降
- ハブ用の Intel® Unite™ ソフトウェア (バージョン 2.0 以降)

3.1.1 Microsoft* Exchange* の電子メールアカウントと Exchange Web Service へのアクセス

電子メールアカウントと Exchange Web Service

(<https://<server>/EWS/Exchange.asmx>) へのアクセス。会議を作成する際は、各ハブにリソースとしてスケジュールできる電子メール/カレンダーが必要です。アカウントには、カレンダーの読み取り/書き込みを行うアクセスと、Skype* for Business にサインインするアクセスが必要です。デフォルトでは、プラグインはカレンダーの招待を管理し、新しい会議と更新された会議の承諾メッセージを送信し、既存のスケジュールと競合する招待の拒否メッセージを送信します。または、この機能をプラグインから無効にして、独自のツールを使用してカレンダーを正確に保つこともできます。Exchange Web Service の URL を取得する方法が分からない場合は、「3.2 必要な Exchange Server* の情報を探す」を参照してください。



3.1.2 Skype* for Business がインストール済みで稼働中であり、起動時に自動的にサインインする

Skype* for Business は起動し、サインインするように設定される必要があります。プラグインは、Skype* for Business へのログインは自動化しません。

注：Microsoft* Exchange* と Skype* for Business のアカウントは同じであることが理想的です。

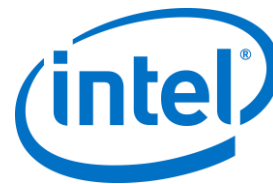
3.1.3 プラグインが信頼済みであることを確認する

- **エンタープライズ・モード：** 詳細な手順については、「Intel® Unite™ ソリューション・エンタープライズ導入ガイド」の「ハブのインストール」 > 「プラグイン」セクションを参照してください。
- **スタンドアロン・モード：** 詳細な手順については、「Intel® Unite™ ソリューション・スタンドアロン・ユーザー・ガイド」の「ハブのカスタマイズ」 > 「プラグイン」セクションを参照してください。

3.2 必要な Exchange Server* の情報を探す

Exchange* の電子メールアカウントがあるものの、Exchange Web Service の URL を取得する方法が分からない場合は、次の手順に従います。

1. Outlook* を起動します。
注： Outlook* はハブで実行する必要がありません。任意のマシンで実行できます。
2. **Ctrl** キーを押しながら、Outlook* のシステムトレイ・アイコンを右クリックします。
3. コンテキスト・メニューに、[接続状態] と [電子メールの自動構成のテスト] という 2 つの新しいオプションが表示されます。
4. [電子メールの自動構成のテスト] > [テスト] の順にクリックし、電子メールサーバーの設定を確認します。



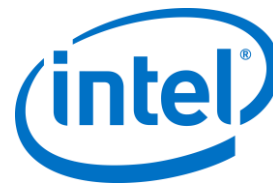
5. [結果] タブに表示される「外出中の URL」をメモし、プラグイン用のサーバー URL として使用します (例 : <https://exchange.domain.com/EWS/Exchange.aspx>)。

3.3 Skype* for Business 用 Intel® Unite™ プラグインのインストール

ハブ上で :

1. Intel® Unite™ アプリケーションを終了します。
2. 「Intel® Unite™ Plugin for Skype* for Business.msi」を実行します。
3. [Exchange Server 構成] ウィンドウで次の情報を入力します。

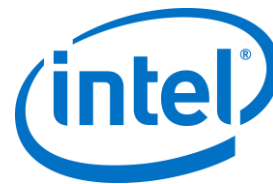
- a. **Exchange Server 名** : 前提条件で説明した Exchange Web Server の URL です。上に示す例 (<https://outlook.office365.com/EWS/Exchange.aspx>) を参照してください。ここでは <outlook.office365.com> をサーバー名とします。
- b. **ハブで使用している Exchange のユーザー名** : ハブの固有の Exchange* アカウント用の、固有の電子メールアドレスです。上に示す例では、uniteroom1@onmicrosoft.com です。
- c. **パスワードを入力** : ハブで使用している Exchange* のユーザー名に割り当てるパスワードです。



4. **[テスト接続]** をクリックして、アカウント情報が正しく設定されていることを確認し、Skype* for Business が稼働中であり、ログインされていることを確認します。
 - a. Skype* for Business 2016 クライアントの場合は、**[設定] > [ツール] > [オプション]** の順に移動し、**[一般] タブで、[Skype for Business がバックグラウンドで動作しているときに通話コントロールを表示]** のチェックマークを外す必要があります。
5. Intel® Unite™ アプリケーションを起動します。
6. 次のようにテスト会議を設定して、プラグインが自動的に会議に参加および退席できるようにします。

注： デフォルトでは、Skype* for Business は自動的に会議の参加または終了を行いません。

 - a. この初期セットアップのために、キーボードとマウスをハブに接続します (この初期プロセス後はキーボードとマウスが接続されている必要はありません)。
 - b. クライアント・マシンで、現在の日時で Skype* for Business 会議をスケジュールし、ハブの電子メールアドレスを招待します (前の手順と同じ電子メールアドレス)。
 - c. 会議への招待を送信したハブの電子メールアドレスで、会議が承諾されることを確認します。
 - d. クライアント・マシンで、Intel® Unite™ アプリを開き、PIN を使用して接続します。
 - e. プラグインアイコンをクリックして、**[参加]** を選択します。これにより、ハブが会議に参加しようと試みますが、複数のポップアップ・メッセージが表示されます。マウスを使用して、**[音声会議への参加方法]** 画面で **[今後、このメッセージを表示しない]** を選択します。
7. プラグインがインストールされ、必要に応じてカスタマイズできます。

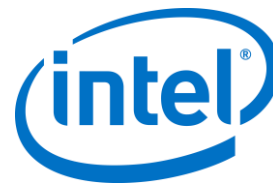


3.4 インストールのカスタマイズ

このプラグインを使用すると、アイコンと名前をカスタマイズして、組織の習慣に合わせてユーザーの環境を簡単に調整できます。カスタマイズ・オプションについては、付録 A : レジストリー・キーを参照してください。

インストール後に Exchange* ユーザー名またはパスワードを変更する必要がある場合は、次の 2 つの選択肢があります。

1. プラグインをアンインストールして再インストールする
2. 構成ファイルを手動で更新する方法と手順については、付録 B : XML ファイルの設定を参照してください。



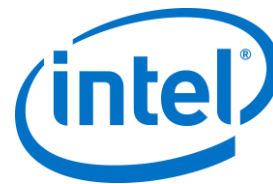
4. クライアント・デバイスで Skype* for Business を有効にする方法

ハブで使用しているユーザー名/Exchange* アカウントを招待して、Skype* for Business 会議がスケジュールされ、ハブ (プラグインがインストールされているハブ) によって会議への招待が承諾されました。

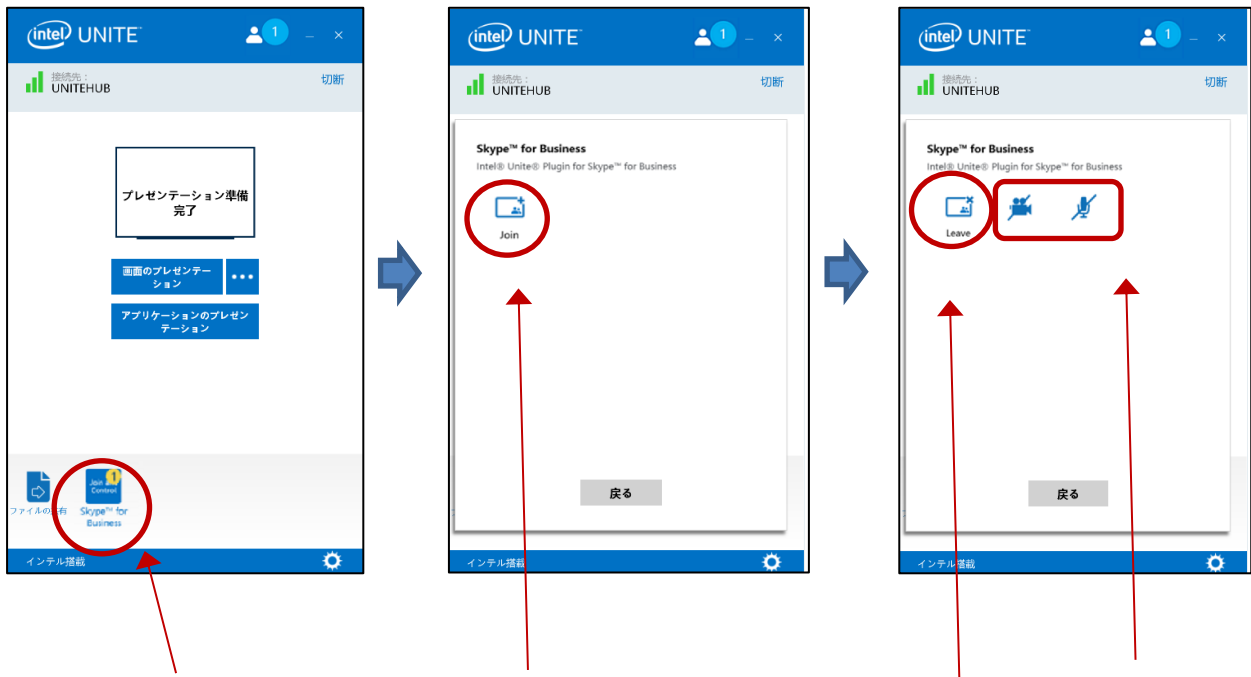
会議がスケジュールされ、承諾されている Intel® Unite™ ソリューション対応の会議室に会議参加者が入室する際は、会議が開始される 10 分前に、画面またはモニターに「**オンライン会議**」というメッセージが表示され、会議が終了するまで表示され続けます。



1. Intel® Unite™ アプリを開き、ハブに表示された PIN を入力します。
2. [**Skype for Business**] をクリックします。
3. [**参加**] をクリックすると、ハブが Skype* for Business 会議に参加します。



4. Skype* for Business で使用可能なオーディオまたはビデオデバイスが接続されている場合、Intel® Unite™ アプリケーションに接続しているユーザーは、表示されているアイコンをクリックしてそれらのデバイスを制御できます。



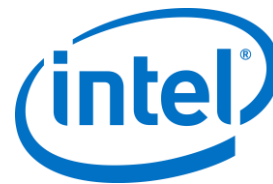
Skype* for Business
がスケジュールされる

Skype* for Business
会議に参加する

Skype* for
Business 会
議を退席す
る

使用できるようになると、
コントロール
が表示される

5. (クライアント・マシン上の) Intel® Unite™ アプリに Skype* for Business アイコンが表示されない場合、スケジュールされている Skype* 会議がないか、Skype* 会議が終了しています。または、Skype* 会議がハブによって承諾されていることを確認します。



5. プラグインの主な機能

5.1 スケジュールされた会議

ユーザーが Microsoft* Outlook* を使用して会議をスケジュールする場合、プラグインは会議を承諾することで Exchange* 予定表を管理できます。すでにスケジュールされている会議と重複する会議は承諾されません。

会議を変更して、キャンセル、延長、または短縮が可能です。会議に対する変更をすべて承諾し、予定表の情報を更新するには、Skype* for Business 用プラグインがハブで実行されている必要があります。ハブがオフラインのときに会議がプラグインに送信された場合、その会議リクエストの妥当性に関係なく、ハブのオンライン復帰とともに辞退されます。

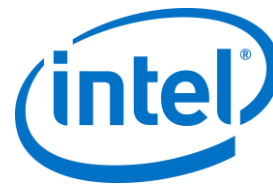
または、別のシステムでカレンダーの招待を実行することもできます。プラグインのカレンダー管理を無効にするには、レジストリー・キーを正しく設定する必要があります (付録 A : レジストリー・キーを参照)。

5.2 Skype* for Business 会議に参加する

スケジュールされた Skype* for Business 会議が進行中の場合、Intel® Unite™ アプリケーションに接続しているユーザーは Skype* for Business 用プラグインを使用してハブ経由で Skype* for Business 会議に参加できます。

ユーザーは、開始時間 10 分前に会議に参加できます。会議が使用できるようになると、プラグインアイコンに会議の準備ができたことを示すインジケータが表示されます。さらに、ハブの下部の青いステータスバーに会議の件名と時間が表示されません。

Intel® Unite™ アプリから会議に接続するには、プラグインアイコンをクリックし、[参加] を選択します。会議室が会議に参加していることを示すトーストメッセージ



がハブに表示され、5 秒以内に Skype* for Business ウィンドウが全画面で前面に表示されます。

5.3 Skype* for Business 通話の応答

Skype* for Business ユーザーが Intel® Unite™ アプリケーションを実行しているハブを使用して、音声またはビデオ通話を開始すると、Intel® Unite™ アプリに接続しているユーザーが通話に応答できるようになります。この場合、通話を開始した人物の名前でメッセージがハブに表示されます。通話を受けるには、Intel® Unite™ アプリ内でプラグインをクリックし[応答]を選択します。5 秒以内に、Skype* for Business が全画面で正面に表示されます。

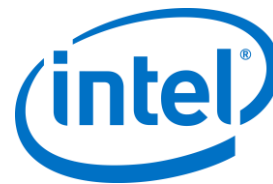
5.4 コンテンツの共有

Skype* for Business 参加者がコンテンツを共有している場合、Intel® Unite™ クライアントの参加者も見られるように、そのコンテンツは接続された第 1 ディスプレイでハブに表示され、すべての Skype* for Business 参加者が閲覧可能になります。

コンテンツが Intel® Unite™ クライアントによって共有されると、ハブがそのコンテンツを Intel® Unite™ アプリケーション、およびすべての Skype* for Business 会議参加者と共有します。

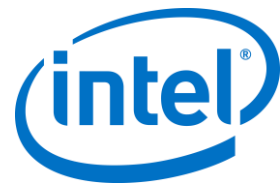
5.5 ビデオ制御

Skype* for Business 対応カメラがハブに接続されている場合、Intel® Unite™ アプリケーションに接続しているユーザーは Skype* 用プラグインを介してビデオの開始と停止を実行できます。これを実行するには Intel® Unite™ アプリ内でプラグインアイコンをクリックし、カメラボタンをクリックします。



5.6 オーディオ制御

Skype* for Business 対応のオーディオデバイスがハブに接続されている場合、Intel® Unite™ アプリケーションに接続しているユーザーは Skype* for Business 用プラグインを介してマイクのミュートとミュート解除を実行できます。これを実行するには Intel® Unite™ アプリでプラグインアイコンをクリックし、マイクボタンを選択します。



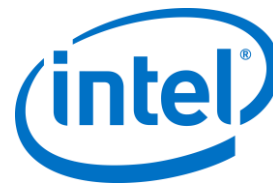
付録 A : レジストリー・キー

次のレジストリー・キーを追加すると、インストールのデバッグに役立ちます。

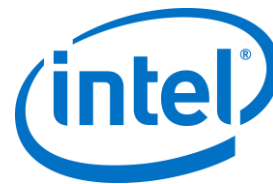
注 : このキーは、デフォルトでは存在しないため、作成する必要があります。

レジストリー・キー : HKLM\Software\Intel\Unite\S4BPlugin

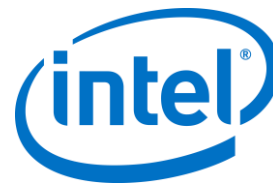
値	説明	デフォルト
Debug (dword)	1 = デバッグ有効 デバッグモードを有効にすると、デバッグコンソール、ログボタン、切り替えボタンが表示され、ログが表示できるように Intel® Unite™ アプリ画面の透過性を切り替えることができます。	0 (デバッグ無効)



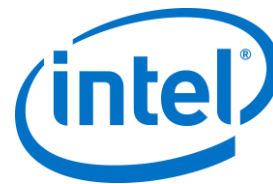
<p>ManageCalendar (dword)</p>	<p>0 = プラグインはカレンダーを管理しない</p> <p>1 = プラグインはカレンダーを管理する</p> <p>デフォルトでは、プラグインは着信するカレンダーの招待を管理 (招待の承諾と拒否) して競合が起こらないようにします。</p> <p>IT 部門では別のツールまたは方法を使用してカレンダーを管理する場合がありますため、この設定によってデフォルトの機能を無効にすることができます。</p>	<p>1 (プラグインはカレンダーを管理する)</p>
-----------------------------------	--	-----------------------------



<p>Icon (string)</p>	<p>画像の有効なパスを指定します。</p> <p>これにより、IT 部門が Intel® Unite™ クライアントのプラグインセクションに表示されるアイコンをカスタマイズできます。</p> <p>注：レジストリーの代わりに、「s4bpluginicon.png」という名前の画像をプラグイン・ディレクトリー (C:\Program Files (x86)\Intel\Intel Unite\Hub\Plugins\s4bpluginicon.png) に置くこともできます。</p>	<p>内蔵デフォルトアイコンを使用する</p>
----------------------	--	-------------------------



Name (string)	これにより、IT 部門が Intel® Unite™ クライアントのプラグインセクションに表示される名前をカスタマイズできます (以下のアイコンと同様)。任意の文字列を指定できます。	内蔵のデフォルト名を使用する (アプリケーションはクライアントが Lync* か Skype* かを検出し、それによってテキストを表示する)。 Skype* for Business 用 Intel® Unite™ プラグイン Microsoft* Lync* 用 Intel® Unite™ プラグイン
---------------	---	--



付録 B : XML ファイルの設定

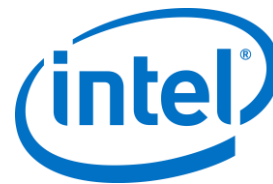
このセクションでは、プラグインが Exchange* に接続するために読み込む XML 設定について説明します。

この設定ファイルは、プラグインと同じディレクトリーにあり、インストール中に生成されます。C:\Program Files (x86)\Intel\Intel Unite\Hub\Plugins\ExchangeServerConfiguration.xml にあります。

インストール中に、ユーザー名とパスワードは Microsoft* データ保護 API を使用してローカルシステムに暗号化されます。このファイルは適切にセキュリティー保護する必要があります。

インストール後にユーザー名とパスワードを更新する場合は、次の手順に従います。

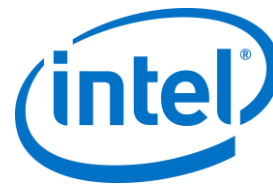
- 1) ハブの Intel® Unite™ アプリを閉じる
- 2) 変更しているユーザーが、設定ファイルの書き込みアクセス権を持っていることを確認する
- 3) 設定ファイルを編集する
 - a. 以下の XML 要素を変更する：
`<email>yourNewAddress@yourdomain.com</email>`
`<password>yourNewPassword</password>`
 - b. 以下の XML 要素を追加または変更する：
`<encrypt>>true</encrypt>`
- 4) Intel® Unite™ アプリケーションを開始する (プラグインが起動すると、ユーザー名/パスワードのフィールドが再暗号化され、<encrypt> が false に設定されます)
- 5) ファイル設定を変更した場合は、設定ファイルを再度セキュリティー保護する必要があります。



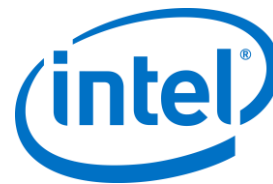
付録 C : トラブルシューティング

このセクションでは、一般的な問題、考えられる原因、および解決方法について説明します。

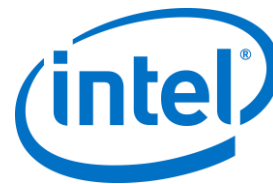
問題	考えられる原因と解決方法
<p>プラグインが Intel® Unite™ アプリに表示されない</p> <p>あるいは</p> <p>プラグインは表示されるが、プラグインウィンドウをクリックすると、「接続されていません」と表示される</p>	<p>この問題の原因はいくつか考えられます。原因を判断する最も簡単な方法は、プラグインのデバッグモードを有効にして、Intel® Unite™ をデバッグモードで起動することです。</p> <p>プラグインでデバッグモードを有効にするには、付録 A のレジストリー設定を参照してください。</p> <p>デバッグモードで Intel® Unite™ アプリを起動するには、コマンドウィンドウを開き、次のように入力してデバッグフラグを付けて Intel Unite.exe を起動します (引用符を含む)。</p> <p style="text-align: center;">“C:\Program Files (x86)\Intel\Intel Unite\Hub\Intel Unite.exe” /debug</p> <p>デバッグコンソールは 2 つあります。1 つはテキスト文書のように表示される Intel® Unite™ アプリコンソールであり、もう 1 つは CMD ウィンドウのように表示されるウィンドウで、詳細な情報が表示されます。</p> <p>考えられる問題と解決策 :</p>



	<p>1) プラグインが信頼済みでない</p> <p>エンタープライズ・バージョンの場合、エンタープライズ導入ガイドを参照してください。スタンドアロン・バージョンの場合、スタンドアロン・ユーザー・ガイドを参照してください。</p> <p>2) プラグインが Exchange Server* に接続できなかった</p> <p>プラグインをアンインストールおよび再インストールし、[テスト接続] ボタンを使用して、設定が正しいことを確認します。</p> <p>3) プラグインが Skype* for Business と接続できなかった</p> <p>Skype* for Business がインストールされてログインしていることを確認してから、ハブの Intel® Unite™ アプリを起動します。</p>
プラグインウィンドウに [参加] ボタンが表示されない	<p>プラグインが現在のスケジュールで Skype* for Business 会議を検出していないことを示します。</p> <p>Skype* for Business 会議が現在スケジュールされているか、接続しているハブに関連付けられた Skype* for Business ユーザーがその会議を承諾しているかを確認します。</p> <p>Skype* for Business URL が電子メールの本文に含まれていないことを確認します。このプラグインを有効にするには、「参加」URL が電子メール本文に含まれている必要があります。</p>



<p>[参加] ボタンが表示されても何も起こらない</p>	<p>これはプラグインが会議を起動できないことを示します。</p> <p>会議に参加するために、プラグインは (ハブ上の) Internet Explorer* を使用して会議の起動を試みます。Internet Explorer* がインストールされていることを確認します。</p> <p>さらに、デバッグモードを有効にして「切り替え」ボタンを表示させ、画面を切り替えて (Intel® Unite™ が非表示になります) 会議への参加を試行できるようにします。そうすることで、Skype* for Business が別の理由で会議に参加できないのかどうかを特定しやすくなる場合があります。</p>
<p>スケジュールされた会議が Skype* for Business 用プラグインから承諾されていない、または辞退されている。</p>	<p>会議への招待が送信された際にシステムがオフラインだった、または Skype* for Business アプリがインストールされていなかった。</p> <p>Intel® Unite™ アプリケーションを終了します。Skype* for Business が実行中であり、適切なユーザーとしてログインした状態であることを確認してから、Intel® Unite™ アプリのハブを起動します。会議への招待を再送信し、会議が承諾されたことを確認します。</p>
<p>カメラ/マイク制御がプラグインウィンドウ内に表示されない。</p>	<p>[カメラ] ボタンと [マイク] ボタンは、プラグインが会議に接続され、Skype* for Business がデバイスを使用するように構成されている場合にのみ表示されます。</p> <p>このトラブルシューティングを行うには、デバイスを使用するように Skype* for Business を再構成する必要があります。</p>



<p>ハブのプレゼンテーション中にほかの人が Skype* for Business から制御を要求している</p>	<p>この場合、リクエストは最終的にタイムアウトになります。現時点では、プラグインはこの種類の要求を処理していません。</p>
<p>会議がスケジュールされているにもかかわらず、ハブ・ディスプレイに会議が表示されない。または、ログファイルで予定数が 0 になっている。</p>	<p>現在の時刻で会議がスケジュールされていることを確認し、ハブを介して会議にアクセスできることを確認します。つまり、ハブ上で実行されているアカウントの Outlook* 予定表を開き、会議への招待を表示します。</p> <p>会議の本文は空白でなく、会議への招待/Skype* へのリンクが含まれている必要があります。</p> <p>会議への招待が空白の場合、Exchange Server* に、招待の本文をスクラブする設定があり、プラグインが会議への招待を読み取るには、その設定を削除する必要があることを意味します。</p>